

取扱説明書

iGuzzini

LIGHT AIR

yamagiwa

このたびは、ヤマギワの照明器具をお買い上げくださり誠にありがとうございます。
この説明書をよくごらんの上、正しく取り付け、正しくご使用ください。
お読みになりましたら、この取扱説明書は大切に保管してください。

●電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

目 次

- | | |
|-------|-------------------------------------|
| 1 ページ | : 照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意 |
| 2 ページ | : 定格表・オプションパーツ・器具取付寸法 |
| 3 ページ | : 部品名称・器具の取付方法 |
| 4 ページ | : 器具の取付方法（つづき） |
| 5 ページ | : 照明器具ご使用についての安全上のご注意 |
| 6 ページ | : ランプ交換のしかた・保守とお手入れ・アフターサービスのお問い合わせ |

照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意

⚠ 警 告

	火災のおそれがあります ◇電源接続の際は、取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。 ◇電源配線は、ランプ表面にふれないように取付けてください。
	落下によるけがのおそれがあります ◇取付は取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。 ◇器具の取付は、取付ける天井の強度を確認し、質量に耐えるところに確実に行ってください。 強度が不足している場合は、補強工事をしてから取付けてください。
	感電のおそれがあります ◇工事が完了するまでは、必ず電源を切っておいてください。 ◇ランプの取付けの際には、必ず電源を切ってください。 ◇アース工事は電気設備基準及び内線規定にしたがって確実に行ってください。
	火災のおそれがあります ◇器具に表示されている以外のランプを取付けしないでください。
	落下によるけがのおそれがあります ◇傾斜した天井や船底天井、及び取付部のまわりに極端な突出部のある天井に、器具を取付けしないでください。

⚠ 注 意

- ◇電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
- ◇器具に表示された定格電圧以外の電圧で、使用しないでください。
定格電圧を越えた電圧でご使用になりますと火災の原因となります。
- ◇取付けた器具を説明書に従わず無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。
器具落下によるけがの原因となることがあります。
- ◇ルーバー及びランプの着脱は、両手で静かに扱い、取付けは、確実に行ってください。
落下によるけがの原因となります。
- ◇この器具の安定器は、調光用に対応していません。調光器を使用しないでください。
火災の原因となります。
- ◇この器具は屋内用器具ですが、風呂場等の湿気や水気の多い場所では使用できません。
屋外では使用しないでください。感電・火災の原因となります。
- ◇器具取付の際に、天井の化粧板が厚くて同梱のネジでは十分締め付けられない場合には、同じ径の長いネジをご使用ください。器具落下によるけがの原因となることがあります。
- ◇アース工事が必要な器具は、電気設備技術基準及び内線規定にしたがってアース工事を行ってください。
感電・火災の原因となります。

お 願 い

電気工事店様へ

工事が終わりましたら、この取扱説明書を、必ずお客様へお渡しください。

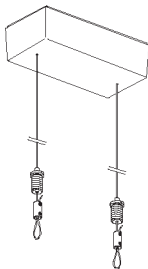
定格表

カタログ番号	型番タイプ	色種	器具寸法 (単位mm)	使用電圧 周波数	入力電流	消費電力	適合ランプ	質量
F9014S・W	E5FB-11Z5-2S・W	S: シルバー (グレー) W: 白	高: 56 巾: 240 長: 1404	AC100~242V 50/60Hz	1.15A(100V) 0.48A(242V)	114W	G5 蛍光ランプ FHF54W×2	6.1kg

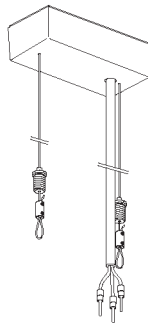
本品の規格および外観は改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

オプションパーツ

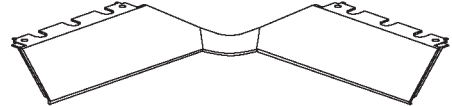
ワイヤー吊りフランチ
Z9217G・W
E5FZ-19Z4-ZG・W



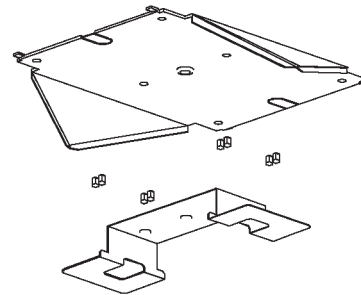
ワイヤー吊りフランチ
(給電付)
Z9218G・W
E5FZ-20Z5-ZG・W



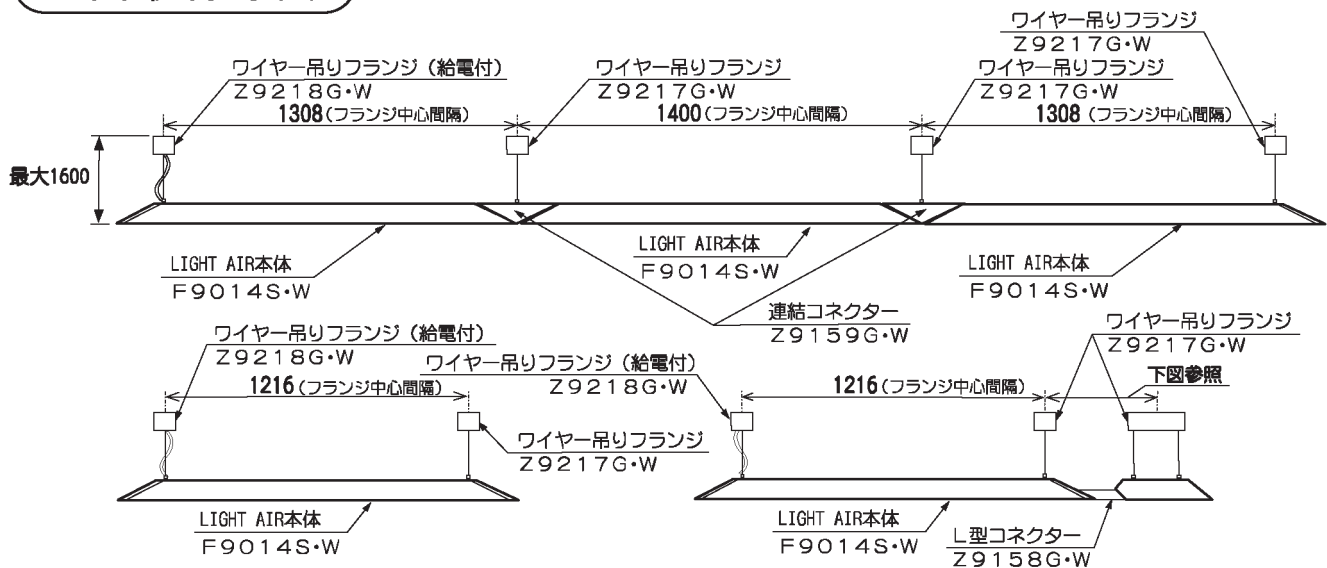
L形コネクター
Z9158G・W
E5FZ-16Z2-ZG・W



連結コネクター
Z9159G・W
E5FZ-17Z1-ZG・W



器具取付寸法

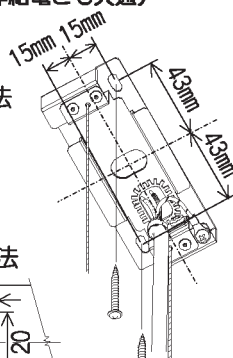


ワイヤー吊りフランチ取付寸法
(給電付/非給電とも共通)

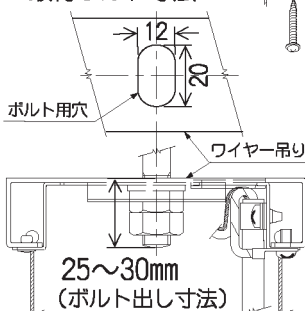
L型連結時のワイヤー吊りフランチ取付寸法

*器具は必ず水平に吊ってください。

取付ネジ寸法

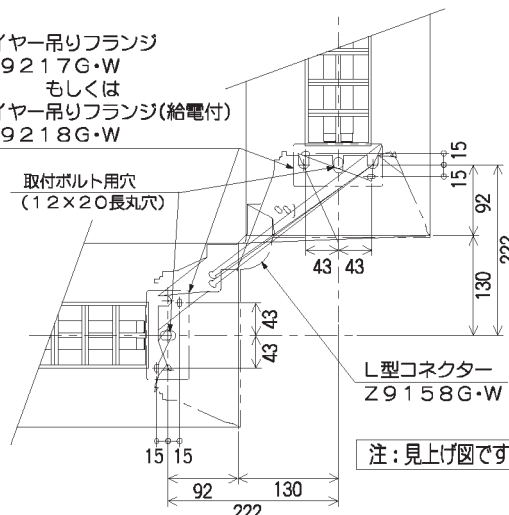


取付ボルト寸法



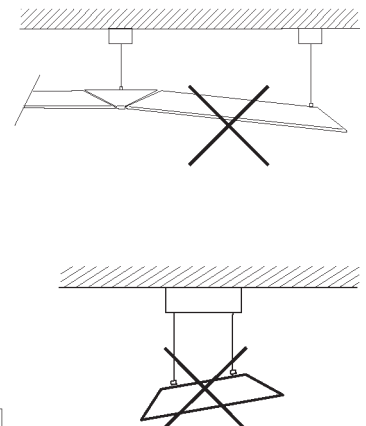
ワイヤー吊りフランチ
: Z9217G・W
もしくは
ワイヤー吊りフランチ(給電付)
: Z9218G・W

取付ボルト用穴
(12×20長丸穴)

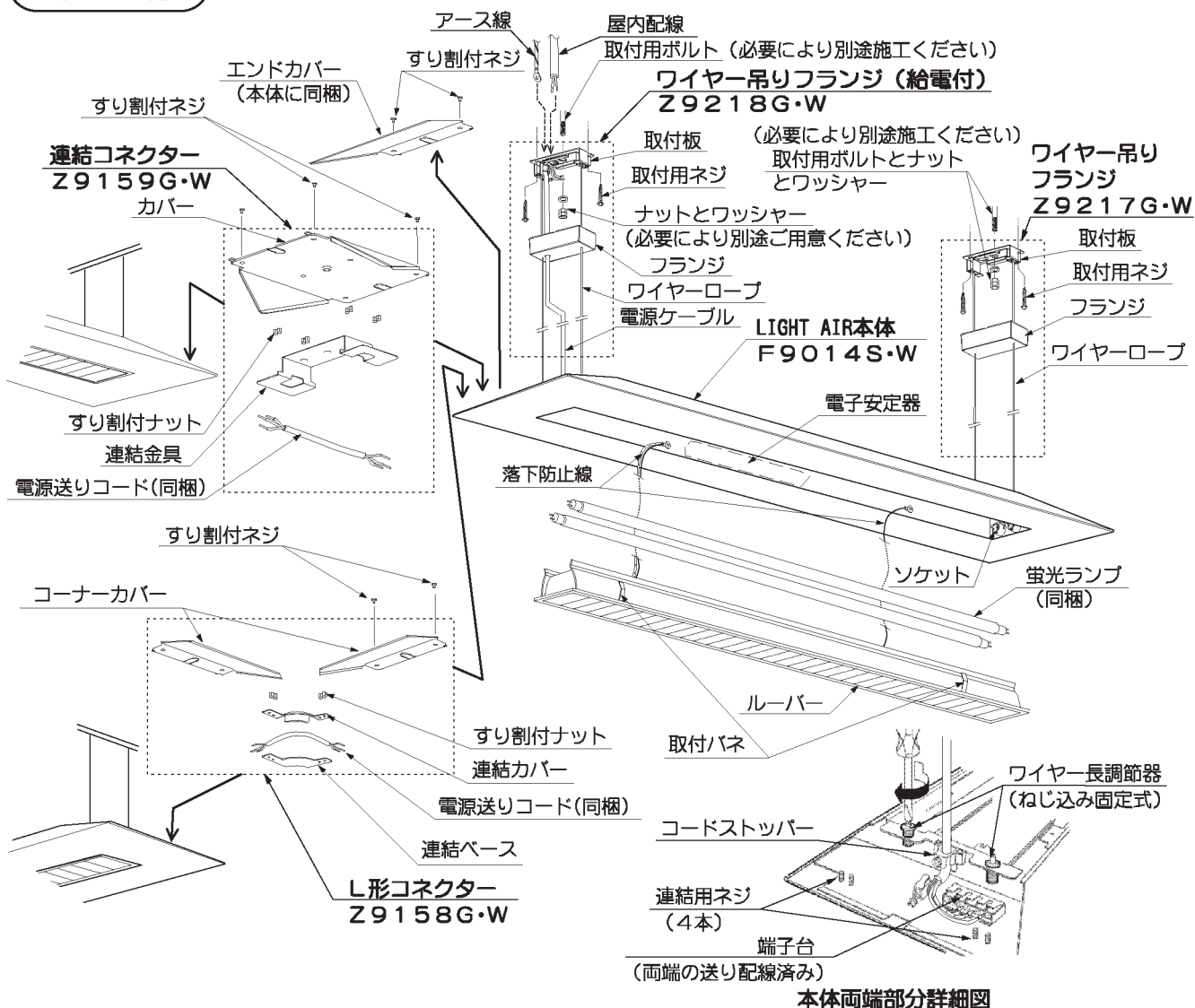


L型コネクター
Z9158G・W

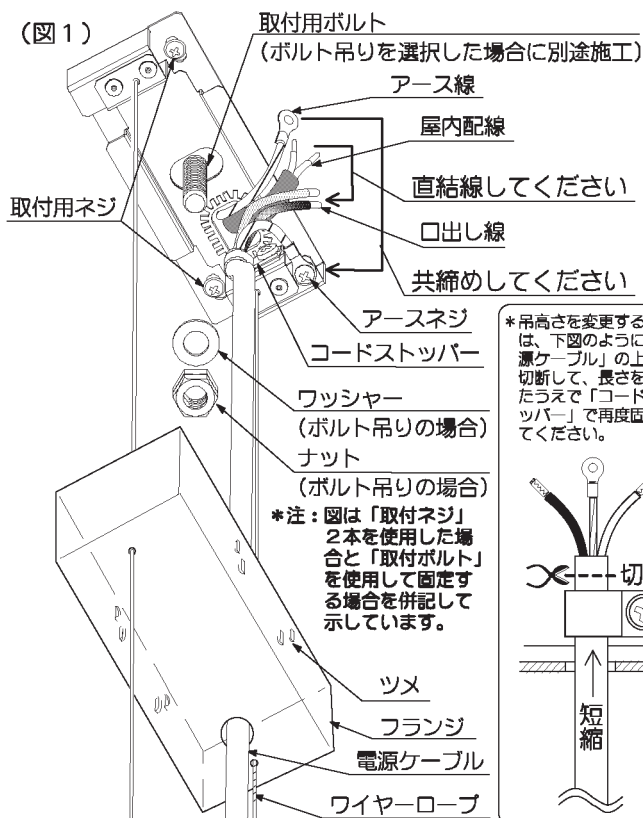
注: 見上げ図です



部品名称



器具の取付方法



【施工のまえに】

- 1 回路につき 10 A までの電源送りが可能です。
- 取付部の強度は器具質量に十分耐えるようにしてください。
必要に応じて補強工事を施工してください。
不備がありますと器具落下の原因となります。
- 傾斜した天井には取付できません。

①ワイヤー吊りフランチを天井にとりつける（図1）

フランジと取付板とを分離し、天井の取り付ける場所の強度をご確認のうえ、2ページの「器具取付寸法」を参照して、適切な間隔を取って取付板を同梱の取付用ネジ、もしくは、別途施工の取付用ボルトと座金・ナットを使用して、天井に取付けます。

給電用フランジの場合は図1を参照して、屋内配線と器具の口出し線をフランジ内部で直結線してください。

また、アース線は取付板上のアースネジに接続してください（この器具は、D種接地工事(第3種接地工事)が必要です）
また、吊高さを変更する場合には、図1を参照してケーブルを固定している、ワイヤー吊りフランジ内部のコードストッパーを緩めて、ケーブル上部を切断して長さを詰めてください。この場合には再度、電源ケーブルの被覆をむいて直結線してください。

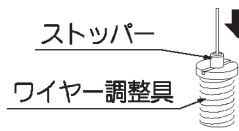
このとき必ず、アース線はワイヤー吊りフランジ内部のアースネジに再接続してください。

作業を行うときは、必ず電源を切って開始してください。
不備がありますと、感電の原因となります。

ワイヤー調整方法 (図2)

■ワイヤーを短く調整する場合

下図のようにワイヤー調整具にワイヤーを押込んでください。この時、必ず器具本体は支えながら行ってください。



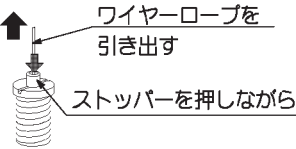
ストッパーを押さなくてもワイヤーが入り、戻らないようになっています。

■ワイヤーを長く調整する場合

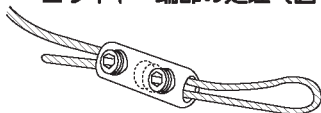
器具本体をしっかり支えながら、下図のようにワイヤー調整具のストッパーをゆるめて、器具の位置を下げるように調整してください。

△注意

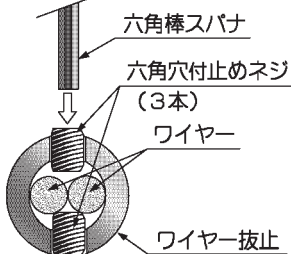
ストッパーを下押ししている間はワイヤーはロックされませんので器具の重さで一気の下がってしまいます。吊り長さを長くする時は必ず器具本体を支えながら調整を行ってください。



■ワイヤー端部の処理 (図3)



ワイヤー抜止 (断面図)

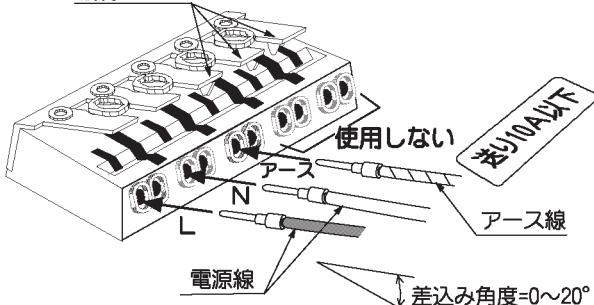


ワイヤーを短縮して切断する場合には、左図のようにワイヤー端部に必ず元のように、ワイヤー抜止を取り付けてください。

このとき、「ワイヤーロープ」の方向は左の断面図のように「六角穴付止めネジ」に対して直角に並ぶようにして、同時に締め付けられるようにしてください。

■本体内部の端子台への電線の接続 (図4)

注意：端子台への電線の抜き差しは必ず、解除レバーを押しながら行ってください。



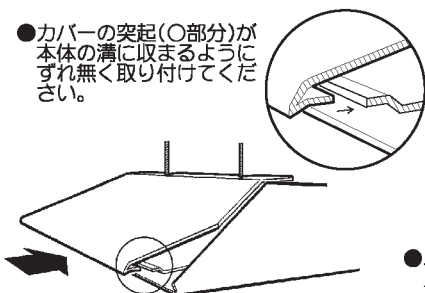
1 系列最大送り容量：10Aまで

100V給電の場合は器具8台まで
200V給電の場合は器具16台まで

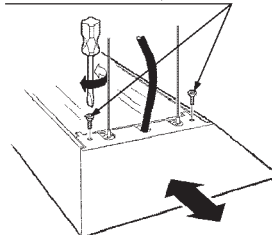
- 電線先端の棒端子は、必ず端子台の解除レバーを押しながら、上図の範囲の角度で、矢印の方向に、止まるまで差し込んだあと、引っ張ってみて抜けないことを確認してください。
- 外すときも、解除レバーを押込んで外してください。

■エンドカバーの着脱 (図5)

- カバーの突起(○部分)が本体の溝に収まるようにすれ無く取り付けてください。



エンドカバー固定ネジ



- エンドカバーはエンドカバー固定ネジ(2ヶ所)で固定されます。

フランジは給電用も非給電用も同様に、取付板に押しつける側面内部のツメが掛かって固定されます。

ワイヤーロープは、2ページの「器具取付寸法」を参照して、最大1600mmまでの長さで、器具を水平に吊下げるように調整します。不備がありますと、器具落下の原因となります。

②ワイヤーに本体を吊り下げる (図2・3)

図2・3を参照して、一旦、ワイヤー抜止をワイヤーロープから外し、ワイヤー調整具を抜き取ってから、⊖ドライバーなどを使用して、ワイヤー調整具を本体の取付穴にねじ込みます。

ワイヤー調整具にワイヤーを通して、所定の高さに水平に器具が吊られるようにします。

このとき、図3を参照して、必ずワイヤーの端部に抜止を再度取付けてください。

不備がありますと、器具落下の原因となります。

③電源線とアース線を端子台に接続する (図1・4)

3ページの「本体両端部分詳細図」と図4を参照して、本体内部のコードストッパーに電源線を固定した上で、端子台に電源線とアース線を接続します。

不備がありますと火災・感電・不点灯の原因となります。

④エンドカバーの取付け (器具を単体で設置する場合：図5)

連結をしない本体の端部には、左記の図5を参照して、エンドカバーを取付けてから、エンドカバー固定ネジ2本を締めて固めます。

本体とエンドカバーが隙間無いように、しっかり固定します。このとき、無理にネジを締め付けすぎないように、ご注意ください。

エンドカバーを破損するおそれがあります。

不備がありますと、器具破損の原因となります。

⑤器具を連結する (複数の器具を連結して設置する場合)

5ページの「器具本体の連結」を参照して接続してください。器具本体を連結する場合は、連結コネクターまたはL形コネクターに同梱のネジ・ナット等は指定本数を余さず使用して、確実に固定してください。

連結しない側は④と同様です。

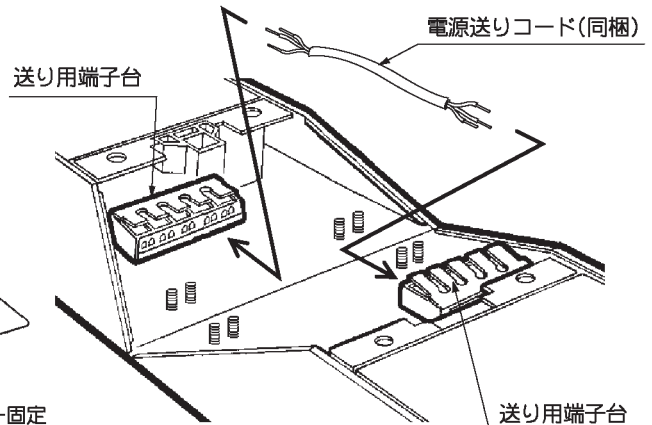
器具を連結して本体間で電源の送りをする場合には、必ず同梱の送り用電線を使用して連結する器具の端子台間に電源線とアース線を接続してください。

電源の送りをする場合、1回路につき10A (100V給電の場合は器具8台、200V給電の場合は器具16台) までの接続が可能です。

不備がありますと、火災・感電・不点灯の原因となります。

■本体間で電源を送る場合の注意 (図6)

- 必ず「電源送りコード」(同梱)を使用して接続してください。
- 「電源送りコード」の両端は、処理済みですので、加工せずに使用してください。

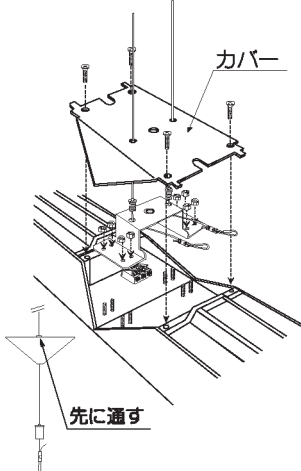


注意 必ず電源を切ってください。感電・やけどの原因になります。

■器具本体の連結

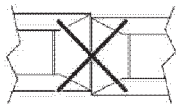
「連結コネクター：Z9159G・W」の場合の取付方法

①全体の構成

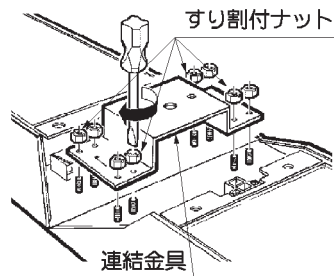


注意：ワイヤーロープはあらかじめカバーの穴に通しておいてください。

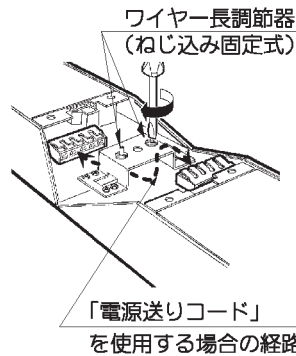
*器具本体のずれが無いようにご注意ください。



②「連結金具」を使用して器具本体同士を接続する



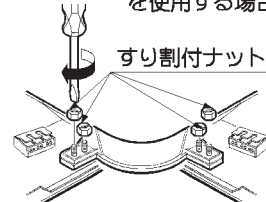
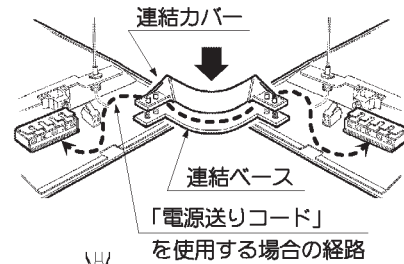
③ワイヤー長調節器を本体または連結金具にねじ込む



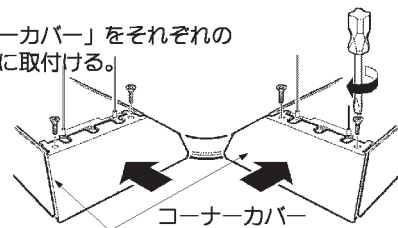
「L形コネクター：Z9158G・W」の場合の取付方法

①「連結カバー」と「連結ベース」を重ねて使用して器具本体同士を接続する。

（「電源送りコード」を使用する場合は、間を通します）



②「コーナーカバー」をそれぞれの器具本体に取付ける。



照明器具ご使用についての安全上のご注意

⚠ 警告



感電のおそれがあります

◇ランプの交換や、器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。



感電・火災のおそれがあります

◇異常時（煙が出たり、変な臭いがする時）には、速やかに電源を切ってお買い上げの販売店にご相談ください。



感電・火災のおそれがあります

◇器具及び部品の改造をしないでください。
◇器具のすきまに、異物（金属類や燃えやすい物等）を差し込まないでください。



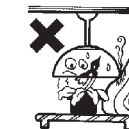
やけどのおそれがあります

◇点灯中及び消灯直後のランプにさわらないでください。



火災のおそれがあります

◇器具に表示されている以外のランプを使用しないでください。
◇器具を布・紙等でおおったりしないでください。又カーテン・揮発物等の燃えやすいものに近づけないでください。



⚠ 注意

◇器具の保守・お手入れ等で、無理に器具を回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。

器具の落下によるけがの原因となることがあります。

◇ルーバー及びランプの着脱は、両手で静かに扱い、取付けは確実に行ってください。

落下によるけがの原因となることがあります。

◇明るく安全に使用していただくために、器具を定期的に（6ヶ月に1回程度）清掃、点検してください。器具のネジや部品のゆるみがないか、損傷、脱落、コードの痛みがないかお調べください。

◇器具に水をかけたり、水の中につけて洗わないでください。感電や火災の原因となることがあります。

◇器具の下に温度の高くなるストーブや、発熱体を置かないようにしてください。

器具の変形や火災の原因となることがあります。

◇点灯中及び、消灯後はランプにさわらないでください。やけどの原因となります。

ランプ交換のしかた

⚠ 注意 必ず電源を切って約10分待ってから必ず電源を切ってください。感電・やけどの原因になります。

適合ランプ G5口金T5(16mm)管蛍光灯 FHF54W

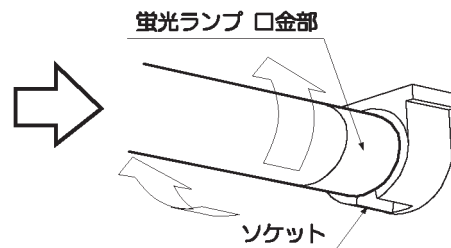
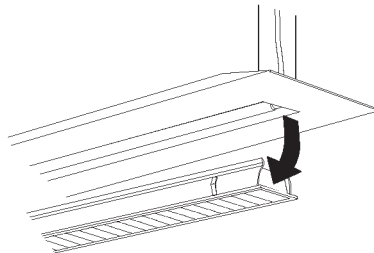
●ルーバー内側に曲げないように指をかけて静かに引き下ろします。

ルーバーは両手で静かにあつかい、落下させないようにご注意ください。

●ルーバーは4点の取付バネで固定されています。ルーバーはひずみやすいので、無理な力をかけないように注意して取り扱ってください。

●ルーバーを静かに取外してから、ランプ交換してください。交換が終わりしたら、逆の手順でルーバーをもと通り取付けます。不備がありますと、器具落下のおそれがあります。

●必ず上記の**適合ランプ**を使用してください。誤って使用しますと、火災・不点灯・器具の破損のおそれがあります。



ソケットは回転式です。

90° ランプを回して着脱します。

※細い蛍光管につきランプのお取り扱いには、充分にご注意願います。

保守とお手入れ

⚠ 注意 必ず電源を切ってください。感電・やけどの原因になります。

お 願 い

◇器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー・ベンジン等揮発物で拭いたり、殺虫剤をかけたないでください。変色・破損の原因となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたら、柔らかい布で仕上げてください。

◇ぬれた手で器具に触らないでください。

◇ガラス・陶磁器類は、こわれやすい材料です。お取扱いの際には、両手で静かに行ってください。

◇点灯中及び消灯直後のランプにさわらないでください。やけどをする場合があります。

●ランプが点灯しない場合は次のことをご確認ください。

- ・スイッチが入っているか?
- ・ランプが切れていないか?
- ・ランプがソケットに確実にハマっているか?

●低温時の点灯では、チラツキや点灯の遅れ、照度不足(光束不足)を生じることがありますが、故障ではありません。時間の経過と共に安定器の温度やランプの温度が上昇すれば正常にもどります。

●ランプが寿命になると管端が黒くなったり、点滅をくりかえします。早めにお取り替えください。

お読みになりましたら、この取扱説明書は、いつでも見られる所に、大切に保管してください。



愛情点検



アフターサービスのお問い合わせ

yamagiwa

商品に関するご相談およびお問い合わせは、器具本体の表示に書いてある型番をご確認のうえ、お買上げいただきました販売店・工事店へお気軽にご連絡ください。部品についてのお問い合わせは、「部品名称」のイラストをご参照ください。

ヤマギワ
リビナ本館
ダ・ドリアア
青山
東京営業所
TEL 101-0021 東京都千代田区外神田1丁目5番10号
TEL (03) 3253-5111(代表)
TEL 107-0062 東京都港区南青山3丁目16番3号
TEL (03) 5770-1511(代表)
TEL 101-0062 東京都千代田区神田駿河台3丁目4番地
TEL (03) 3253-5143(代表) 龍名館本店ビル10階
TEL 101-0062 東京都千代田区神田駿河台3丁目4番地
TEL (03) 3253-5150(代表) 龍名館本店ビル10階
札幌営業所
TEL 060-0002 北海道札幌市中央区北二条西1丁目10番地
TEL (011) 221-1321(代表) ビア2・1ビル6階
仙台営業所
TEL 980-0014 宮城県仙台市青葉区本町1丁目13番22号
TEL (022) 227-1251(代表) 仙台松村ビル3階
横浜営業所
TEL 231-0032 神奈川県横浜市中区不老町1丁目1番14号
TEL (045) 664-2871(代表) 関内駅前エスビル8階
ヤマギワ
名古屋店
TEL 460-0006 愛知県名古屋市中区葵1丁目22番20号
TEL (052) 931-2111(代表)
名古屋営業所
TEL 460-0006 愛知県名古屋市中区葵1丁目22番20号
TEL (052) 931-3223(代表)

ヤマギワ
大阪照明館
近畿営業所
TEL 541-0057 大阪府中央区北久宝寺町3丁目6番1号
TEL (06) 6258-6561(代表) 鴻池ビル1階
TEL 541-0058 大阪府大阪市中央区南久宝寺町3丁目6番6号
TEL (06) 6258-6721(代表) 御堂筋センタービル2階
金沢営業所
TEL 920-0901 石川県金沢市彦三町2丁目1番45号
TEL (076) 222-6733(代表) 明治安田生命金沢第二ビル5階
高松営業所
TEL 760-0062 香川県高松市堀上町3丁目8番11号
TEL (0878) 39-3195(代表) クリエイトビル302
広島営業所
TEL 730-0032 広島県広島市中区立町2番25号
TEL (082) 249-5255(代表) 広島ロプロビル9階
福岡営業所
TEL 810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴2丁目1番10号
TEL (092) 721-5661(代表) 福岡ロプロビル7階
宇都宮出張所
TEL 321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷6丁目7番16号
TEL (028) 638-1002 マスミートリアルビル2階
高崎出張所
TEL 370-0071 群馬県高崎市小八木町2008番5
TEL (0273) 62-6920 三恵レジデンス107
静岡出張所
TEL 420-0072 静岡県静岡市葵区二番町7番6号
TEL (054) 273-5305 ローズガーデン406

所在地・電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。